

# プロ野球監督の試合後コメント内容と楽観主義

二川優太 (和光大学)

Yuta FUTAGAWA (Wako University)

キーワード：ポジティブ心理学，楽観主義，野球監督

## 問題

論者は、2011年度の和光大学卒業論文において、日本のプロ野球12球団の各監督が試合後に発するコメントを対象とし、勝敗別に分析したコメントの楽観主義と悲観主義が、どのように勝敗の成績と関係しているのかを研究した(二川 2011)。その結果、楽観主義の監督が率いるチームの成績は高く、逆に悲観主義の監督が率いる監督のチームは、成績が悪いという結果を得ることができた。

コメントの楽観主義と悲観主義の測定は、CAVE法(渡辺・いとう・井上 2010)を用いた。この方法は、コメント全体の文脈を対象に測定を行う方法で、監督から発せられる具体的な「ことば」の種類や、頻度といったことを数量的に調べるまでにはいたらなかった。この研究では、楽観主義と成績との関係は明らかにできたものの、コメント全体の楽観主義を測定するCAVE法においては、各監督のことばの特徴を数量的には明らかにできなかった。そこで、本研究では、各監督が発することば自体に注目し、各監督のことばを数量的に抽出し、分析・考察を行い、今後のプロ野球監督のコメントと楽観主義との関係について、さらに深めていくための研究にしたい。

## 目的

本研究の目的は、2011年シーズンにおいて各監督が発したコメントを対象に、各監督のことばの特徴を数量的に抽出し、分析することである。本研究では、各12監督が発したことばの特徴を、試合の勝敗別に分析し、12監督の発することばの特徴を明らかにする。

## 方法

**分析対象：**2011年4月13日より2011年10月26日にわたる「スポーツニッポン」「日刊スポーツ」「スポーツ報知」「産経スポーツ」の4つのスポーツ新聞に掲載された、12球団の監督の勝ち試合、負け試合それぞれの試合後のコメント記事が本研究の対象データである。セ・リーグとパ・リーグの両リーグ計12名の監督の試合後コメントを対象とする。

**分析方法：**数理システムのテキストマイニングソフトであるTextMinigStudioにより分析を行った。各12監督の試合語コメントを勝敗別に、特徴語抽出を行い、分析した。

## 結果

### (1)基本情報の整理

表 1-1 テキスト全体の基本統計量

項目	値	カテゴリ	集計結果
1 総行数	5456		
2 平均行長(文字数)	22	1 引	373
3 総文数	16609		
4 平均文長(文字数)	7.2	2 勝	2380
5 延べ単語数	47355		
6 単語種別数	5892	3 負	2702

表 1 より、コメント全体の総行数、つまりコメント数は、全監督を合計すると 5456 コメントであった。単語数は 47355 である。また、勝ち試合のコメント数は、2380 数で、負け試合のコメント数は、2702 数であった。なお、引き分け試合のコメントは分析対象外とする。

表 1-2 監督別におけるテキスト基本情報

カテゴリ	集計結果
1 原	698
2 星野	557
3 小川	501
4 渡辺	487
5 岡田	479
6 西村	432
7 尾花	425
8 梨田	419
9 落合	402
10 真弓	391
11 野村	348
12 秋山	316

表 2 は、監督別の合計コメント数である。4 社の新聞記事において、12 名の監督のコメント記事には、監督によって大きくばらつきはあるものの、監督が発することば自体に注目する本研究では、そのばらつきの影響はない。

次に、この各監督のコメントを対象に、特徴語抽出を行う。

### (2)各監督の勝敗別の特徴語抽出の分析

#### (2-1) セ・リーグ 6 球団の各監督の勝敗別の特徴語抽出の分析

(セ・リーグ 1 位) 中日ドラゴンズ 落合監督

表 2-1-1 落合監督の勝ち試合コメントの特徴語抽出上位 20 位

単語	品詞	露性頻度	全件頻度	指標値
1 聞く	動詞	15	17	58.612389
2 岩瀬	名詞	13	13	51.237188
3 いる	動詞	13	40	44.386696
4 良い	形容詞	38	472	39.654912
5 試合	名詞	15	108	35.52360
6 仕事	名詞	12	60	35.117212
7 言う*ない	動詞	9	20	32.680958
8 十分	名詞	8	14	30.008246
9 使*できない	動詞	7	7	27.589255
10 帰る	動詞	7	16	25.305758
11 森野	名詞	6	6	23.647933
12 動*できる	動詞	6	6	23.647933
13 選手	名詞	11	89	23.564231
14 吉見	名詞	6	7	23.394211
15 いく	動詞	7	25	23.02226
16 1点	名詞	8	42	22.904031
17 振*	動詞	6	9	22.886767
18 野球	名詞	7	27	22.514816
19 9番	名詞	6	19	20.349548
20 動き	名詞	5	5	19.706611

表 2-1-1 によると、落合監督の勝ち試合コメントは、「聞く」「帰る」以外は、一貫して自分のチームのことについて話している。「聞く」ということばは、記者に対してのことばであり、「帰る」は、観戦者についてのことばである。チームについては、チーム全体のことばが「試合」「仕事」などと多く、選手個人の名前が 3 名、気持ちを表すことばは「良い」の 1 つであった。落合監督は、勝ち試合のコメントの場合、自分のチームについて語り、気持ちといった内的な側面ではなく、事実に基づいたチーム全体のことを語る特徴があるようだ

表 2-1-2 落合監督の負け試合コメントの特徴語抽出上位 20 位

単語	品詞	属性頻度	全体頻度	指値値	
1	試合	名詞	28	128	85.143347
2	野球	名詞	15	54	53.504637
3	良い?	形容詞	9	20	32.725652
4	若い	形容詞	10	37	32.616764
5	何回	名詞	8	15	29.79343
6	年	名詞	7	7	27.621485
7	やる	動詞	17	178	26.279176
8	こない	名詞	8	29	26.245467
9	経験	名詞	7	13	26.100929
10	勉強	名詞	7	13	26.100929
11	港	名詞	6	6	23.675558
12	憶てる	動詞	6	7	23.422132
13	メンバー	名詞	6	8	23.168706
14	戻る	動詞	6	9	22.91528
15	ゲーム	名詞	9	64	21.574912
16	売封負	名詞	6	15	21.394725
17	負け	名詞	6	16	21.141299
18	連敗	名詞	6	21	19.87417
19	ゲーム	名詞	5	5	19.729632
20	輪道陣	名詞	5	6	19.476205

表 2-1-2 によると、落合監督は、勝ち試合同様、負け試合においても自分のチームのことを語る特徴がある。しかし、選手個人の名前ではなく、「試合」「ゲーム」といったチーム全体についてのことばが多く見られる。

また、「経験」や「勉強」といった、負けた試合での内容をプラスに捉える発言が見られた。チーム全体についての発言が、落合監督の発言の最も大きな特徴である。

(セ・リーグ 2 位) 読売ジャイアンツ 原監督

表 2-1-3 原監督の勝ち試合コメントの特徴語抽出 20 位

単語	品詞	属性頻度	全体頻度	指値値	
1	沢村	名詞	26	26	56.013101
2	長野	名詞	26	27	55.548924
3	阿部	名詞	21	21	45.241351
4	坂本	名詞	21	21	45.241351
5	内海	名詞	21	21	45.241351
6	良い	形容詞	100	472	42.761113
7	見事	名詞	17	20	35.231419
8	ファースト	名詞	16	17	34.005423
9	スタート	名詞	15	19	30.458542
10	東野	名詞	13	14	27.542373
11	野村	動詞	16	31	27.506944
12	プレー	名詞	14	26	24.590775
13	小笠原	名詞	10	11	21.079323
14	藤村	名詞	10	11	21.079323
15	価値	名詞	11	17	20.912788
16	素晴らしい	形容詞	15	40	20.710822
17	形	名詞	17	58	17.592688
18	意味	名詞	9	13	17.532442
19	ガッツ	名詞	8	8	17.2348
20	古畑	名詞	8	8	17.2348

表 2-1-3 によると、20 位のうち、選手個人の名前が 10 名抽出された。原監督が勝ち試合のコメントにおいて、選手名を多く発していることが分かる。つまり、原監督の、勝った試合のコメントは、その試合に活躍し記憶に残った選手の名前の発する特徴があるのである。また、その選手に対して向けられた「見事」「プレー」「素晴らしい」という評価のことばが抽出された。原監督は、勝った試合において活躍した選手について、多くのことばを発する特徴があるようだ。

表 2-1-4 原監督の負け試合コメントの特徴語抽出 20 位

単語	品詞	属性頻度	全体頻度	指値値	
1	良い	形容詞	72	316	110.911578
2	沢村	名詞	20	29	52.060824
3	非常	名詞	16	24	41.359406
4	形	名詞	17	54	33.639735
5	切り替える	動詞	15	37	33.531735
6	内海	名詞	12	13	32.827385
7	見る	動詞	15	41	32.08547
8	ピッチング	名詞	13	28	30.531206
9	東野	名詞	11	11	30.423205
10	ねばり強い	形容詞	11	14	29.338507
11	野村	動詞	13	32	29.084941
12	ゲーム	名詞	16	64	26.896762
13	スタート	名詞	10	13	26.572761
14	部分	名詞	10	16	25.488063
15	打線	名詞	26	157	24.544234
16	坂本	名詞	9	10	24.530147
17	ねる	動詞	10	25	22.239668
18	ファースト	名詞	8	9	21.764401
19	力	名詞	11	37	21.022487
20	チーム	名詞	13	55	20.768921

表 2-1-4 より、負けた試合においては、勝ち試合コメントに比べ、選手個人の名前よりも、チーム全体に対することばが多いようである。また、負けた試合に対することばより、「良い」「切り替える」「スタート」といった、次の試合に向けてのことばが多く見られる。つまり、原監督は、負けた試合においては、選手個人の名前は見られるものの、チーム全体について、そして次の試合に向けてのことばを発する特徴があるようだ。

(セ・リーグ 3 位) ヤクルトスワローズ 小川監督

表 2-1-5 小川監督の勝ち試合コメントの特徴語抽出 20 位

単語	品詞	属性頻度	全体頻度	指値値	
1	大きい	形容詞	40	183	69.187911
2	倉山	名詞	19	19	55.936431
3	赤川	名詞	14	14	41.216317
4	川端	名詞	14	14	41.216317
5	巨人	名詞	14	16	40.536975
6	抜ける	動詞	27	144	39.74707
7	考える	動詞	14	30	35.781577
8	バレンティン	名詞	12	12	35.328272
9	宮本	名詞	11	11	32.384249
10	青木	名詞	10	10	29.440227
11	石川	名詞	10	10	29.440227
12	村中	名詞	10	10	29.440227
13	由規	名詞	10	10	29.440227
14	大事	名詞	12	36	27.176161
15	力	名詞	14	57	26.610451
16	集中力	名詞	9	19	23.099491
17	調子	名詞	10	30	22.546801
18	やる	動詞	21	141	21.06392
19	七条	名詞	7	7	20.608159
20	福地	名詞	7	7	20.608159

表 2-1-5 により、小川監督も原監督同様、勝ち試合のコメントは、選手個人の名前が多いことが分かる。また、1 位には「大きい」ということばが抽出され、勝つことに対して大きな価値を与えている。勝った試合ごとに、勝った事に対して、その価値をことばにして発しているようである。また、5 位には「巨人」ということばが抽出され、1 つ上の順位の巨人を意識しての発言が見られた。小川監督は、選手個人の名前と勝った事の価値を多く発言する特徴があることが分かる。

表 2-1-6 小川監督の負け試合コメントの特徴語抽出 20 位

単語	品詞	属性頻度	全体頻度	指標値
1 負ける	動詞	17	66	38.123093
2 厳しい	形容詞	16	45	37.831893
3 険山	名詞	11	15	33.447051
4 バルンチン	名詞	10	10	31.568685
5 石川	名詞	8	10	24.613192
6 自分	名詞	10	40	22.06256
7 鳥山	名詞	7	8	21.774196
8 一回	名詞	9	31	21.431655
9 出る	動詞	17	120	21.012103
10 やる	動詞	22	178	19.997316
11 難しい	形容詞	8	25	19.860139
12 増洲	名詞	6	6	18.935199
13 選択	名詞	6	8	18.301459
14 する	動詞	7	21	17.654883
15 勝負	名詞	8	34	17.008908
16 作る	動詞	7	24	16.704273
17 走る	動詞	6	14	16.400238
18 切り替える	動詞	8	37	16.057697
19 阪神	名詞	5	5	15.779333
20 連勝	名詞	6	16	15.766497

表 2-1-6 によると、表 2-5 と比べ、選手個人の名前が少なくなることが分かる。注目すべきは、1 位の「負ける」と、2 位の「厳しい」のことばである。負けたことに対して強い自覚を促すことばであり、負け試合に対する反省のことばにも聞こえる。そうした反面、「難しい」「切り替える」といった次の試合に向けてのことばも見られる。ここでも勝った試合同様、「阪神」という他チームのことばが抽出され、1 つ下を意識した発言も発せられている。勝った試合も負けた試合も、自分のチームと近い順位のチームを意識した発言が多いようである。

(セ・リーグ 4 位) 阪神タイガース 真弓監督

表 2-1-7 真弓監督の勝ち試合コメントの特徴語抽出 20 位

単語	品詞	属性頻度	全体頻度	指標値
1 新井	名詞	16	16	66.325111
2 勢い	名詞	15	35	57.355073
3 金本	名詞	11	11	45.598514
4 打つ	動詞	23	241	42.752915
5 試合	名詞	15	108	39.74485
6 つく	動詞	11	42	38.1202
7 勝ち	名詞	11	56	34.742897
8 上がる	動詞	9	24	33.693336
9 4番	名詞	8	47	23.754954
10 若い	形容詞	7	30	23.46881
11 カ	名詞	8	57	21.341995
12 最後	名詞	9	76	21.145066
13 締めくる	動詞	5	5	20.726597
14 岩田	名詞	5	6	20.485361
15 能見	名詞	5	7	20.244125
16 狙う	動詞	5	11	19.279182
17 やる	動詞	12	141	18.624999
18 戻る	動詞	5	22	16.625687
19 チーム状	名詞	4	4	16.581278
20 マートン	名詞	4	4	16.581278

表 2-1-7 によると、真弓監督は、上位 10 位のほとんどが打撃に関する発言となっている事が分かる。「新井」「金本」といったチームの主力バッターの名前が発せられ、「打つ」「4 番」など、打撃について多くを語っている。しかしながら、10 位以下のことばにおいては、投手の名前やチーム全体のことばも見られ、発言全体としては、大きな偏りはないように見える。真弓監督は、勝った試合において、攻撃についての発言が多くなる傾向があるようだが、チーム全体についての発言をバランス良く発しているようだ。

表 2-1-8 真弓監督の負け試合コメントの特徴語抽出 20 位

単語	品詞	属性頻度	全体頻度	指標値
1 点	名詞	28	172	69.162212
2 取れる*ない	動詞	18	51	60.066979
3 早い	形容詞	14	41	46.369477
4 借金	名詞	12	19	43.97411
5 ホール	名詞	12	57	34.019486
6 出る	動詞	15	120	29.793622
7 タイミング	名詞	7	9	26.197322
8 出る*ない	動詞	10	60	26.075024
9 好機	名詞	7	17	24.101612
10 マートン	名詞	6	6	22.903928
11 勝つ*ない	動詞	7	23	22.592829
12 1本	名詞	10	71	22.183422
13 プレッシャー	名詞	8	9	22.118097
14 感じ*ない	動詞	6	10	21.856073
15 取れる	動詞	8	46	20.583947
16 勢い	名詞	6	15	20.546254
17 手	名詞	6	16	20.28429
18 良い*ない	形容詞	8	48	20.060019
19 アカン	名詞	6	19	19.498399
20 僅差	名詞	5	6	18.824643

表 2-1-8 によれば、真弓監督は、負けた試合においては、チーム全体に対する発言と、打撃に関する発言で占めていることが分かる。「借金」「勢い」などはチーム全体に対する発言で、「点」「好機」などは打撃についての発言である。また、「僅差」という発言も見られ、他チームを意識しての発言も発しているようである。真弓監督は、負けた試合においては、投手や守備についての発言は少なく、主にチーム全体と打撃についてのことばが多い。勝ち試合同様に、打撃に対しての発言が多いことから、攻撃面を強く意識しているようである。

(セ・リーグ 5 位) 広島カーブ 野村監督

表 2-1-9 野村監督の勝ち試合コメントの特徴語抽出 20 位

単語	品詞	属性頻度	全体頻度	指標値
1 前田	名詞	10	11	44.769273
2 打線	名詞	13	78	44.041837
3 マエケン	名詞	9	9	40.492383
4 良い	形容詞	29	472	32.012496
5 福井	名詞	7	7	31.494076
6 勝つ	名詞	12	131	27.540426
7 井生	名詞	6	6	26.994922
8 兼原	名詞	6	6	26.994922
9 素晴らしい	形容詞	7	40	24.159363
10 1つ	名詞	6	29	21.88295
11 次	名詞	6	30	21.660586
12 大きい	形容詞	13	183	20.704114
13 見せる	動詞	5	15	20.279128
14 効果的	名詞	5	17	19.82286
15 言う*ない	動詞	5	20	19.161808
16 粘る	動詞	6	42	18.993417
17 計算	名詞	4	4	17.996615
18 前田健	名詞	4	4	17.996615
19 大竹	名詞	4	4	17.996615
20 投手福井	名詞	4	4	17.996615

表 2-1-9 によると、野村監督の発言は、選手個人の名前が比較的多い。特に、投手の名前(なお、前田・マエケン・前田健、および福井・投手福井は同選手)の名前が多く、勝った試合においては、投手についての発言が多いことが見られる。次に打線についての発言が見られるが、チーム全体についての発言が極端に少ない。その他のことばも、選手個人に向けたと思われる発言が多い。つまり、野村監督は勝った試合において、投手のことを特に発言し、チーム全体に対する発言は、特にないという特徴があるのである。

表 2-1-10 野村監督の負け試合コメントの特徴語抽出 20 位

単語	品詞	属性頻度	全体頻度	指標値	
1	帰れる	動詞	13	59	36.387612
2	選手	名詞	14	78	33.444139
3	勿れない	形容詞	11	43	31.296211
4	打つ	動詞	18	160	26.610502
5	マエケン	名詞	7	7	25.504748
6	気持ち	名詞	11	66	24.935661
7	自分	名詞	9	40	24.283599
8	試合	名詞	15	128	23.639198
9	バント	名詞	6	7	21.586754
10	力	名詞	8	37	21.188981
11	打者	名詞	7	24	20.83985
12	投手	名詞	13	115	19.371173
13	つる	動詞	6	18	18.567708
14	今村	名詞	5	5	18.217677
15	ファン	名詞	6	22	17.469873
16	出す	動詞	9	65	17.422132
17	無駄	名詞	5	12	16.296466
18	チーム	名詞	8	55	16.248724
19	責任	名詞	7	41	16.173152
20	申し訳ない	名詞	5	13	16.022007

表 2-1-10 によれば、勝ち試合コメントに対し、選手個人の名前ではなく、チーム全体、もしくは、打者や投手といった少し普遍的な発言が増えたことが分かる。負けた試合のコメントにおいては、選手個人ではなく、より普遍的な面に、負けた要因を求めているようである。また、「ファン」「申し訳ない」といったファンに対しての発言が抽出されたことが特徴的である。そして「勿体ない」「責任」といった、負けたことに対しての心情を表れる発言も見られる。野村監督は、負けた試合において、具体的な要因を発言することは少なく、普遍的な発言や心情的な発言、そしてファンにむけての発言が多いようだ。

(セ・リーグ 6 位) 横浜ベイスターズ 尾花監督

表 2-1-11 尾花監督の勝ち試合コメントの特徴語抽出 22 位

単語	品詞	属性頻度	全体頻度	指標値	
1	良い	形容詞	79	832	73.927213
2	筒香	名詞	16	16	57.447745
3	投手	名詞	27	206	47.089067
4	高崎	名詞	13	13	46.676293
5	国吉	名詞	13	13	46.676293
6	帰れる	動詞	20	117	44.793825
7	多い	形容詞	16	74	41.293934
8	持ち味	名詞	10	12	35.347812
9	厳しい	形容詞	13	64	35.257219
10	山口	名詞	10	18	33.676729
11	投球	名詞	20	159	33.096238
12	先発	名詞	15	91	32.890198
13	出す	動詞	16	105	32.66
14	勝つ	名詞	24	219	31.861391
15	三浦	名詞	9	12	31.478814
16	やる	動詞	32	333	31.062781
17	言う	動詞	15	100	30.183572
18	走者	名詞	11	45	30.025849
19	球	名詞	13	88	25.787744
20	清水	名詞	7	7	25.133388
21	狙い球	名詞	7	7	25.133388
22	大家	名詞	7	7	25.133388

表 2-1-11 によると、尾花監督の勝ち試合における発言は、投手についての発言が多いようだ。投手個人の名前が多く、同時に「投手」「投球」「先発」など、投手の活躍についての発言が多い。また、チーム全体に対しての発言が極端に少なく、投手に関する発言以外の発言は、「持ち味」「出す」「狙い球」といったチーム全体とまではいかない発言にとどまっている。つまり、尾花監督は、勝った試合については、選手個人に対しての発言が多く見られ、特に投手個人についての発言が多いことが分かった。

表 2-1-12 尾花監督の負け試合コメントの特徴語抽出 21 位

単語	品詞	属性頻度	全体頻度	指標値	
1	良い	形容詞	45	316	58.232257
2	多い	形容詞	13	45	31.354435
3	投手	名詞	19	115	30.3676
4	筒香	名詞	9	9	28.663067
5	言う	動詞	13	54	28.528499
6	国吉	名詞	8	8	25.478282
7	山口	名詞	8	8	25.478282
8	やる	動詞	23	178	24.581159
9	一回	名詞	10	40	22.428065
10	大家	名詞	7	7	22.293497
11	投球	名詞	12	63	22.203785
12	走者	名詞	9	31	21.755223
13	勝つ	名詞	12	66	21.261806
14	厳しい	形容詞	10	45	20.858101
15	状態	名詞	10	47	20.230115
16	狙い	名詞	6	6	19.108712
17	考える	動詞	11	65	18.077021
18	先発	名詞	10	57	17.090186
19	期待	名詞	6	13	16.910761
20	ヤクルト	名詞	5	5	15.923926
21	清水	名詞	5	5	15.923926

表 2-1-12 によると、尾花監督は負け試合も、勝ち試合同様に、投手に対しての発言が多いようだ。1 位には、「良い」ということばが見られるが、負けた試合ではあるが、試合の内容は良いという意味で使われる場面が多い。負けた試合の中にも、良かった点を発言することが、尾花監督の特徴であるように思えるが、2 位の「多い」は、同じミスや同じような負け試合が多いといった意味で使われることが多かった。つまり、尾花監督は、負けた試合において、投手の発言が多く、試合の内容に良い点を見つけ発言しつつも、負ける試合の原因が同じであることを繰り返し語ることが特徴である。

## (2-2) パ・リーグ 6球団の各監督の勝敗別の特徴語抽出の分析

(パ・リーグ1位) ソフトバンク 秋山監督

表 2-2-1 秋山監督の勝ち試合コメントの特徴語抽出 20 位

単語	品詞	属性頻度	全体頻度	指標値	
1 1 1 1 1	良い	形容詞	47	472	74.072307
2 松田	名詞	15	16	58.192678	
3 葉中	名詞	15	27	55.369719	
4 内川	名詞	11	11	42.862028	
5 大きい	形容詞	21	183	40.254549	
6 ワンチャンス	名詞	10	12	38.652942	
7 杉内	名詞	10	12	38.652942	
8 取れる	動詞	11	48	33.367421	
9 和田	名詞	9	17	33.016525	
10 優勝	名詞	8	14	29.63317	
11 崩壊する	動詞	10	49	28.957535	
12 小久保	名詞	7	7	27.276345	
13 つながる	動詞	9	44	26.007444	
14 福田	名詞	6	6	23.379724	
15 関係がない	名詞	7	23	23.170223	
16 自分	名詞	8	46	21.420926	
17 本塁打	名詞	8	52	19.88113	
18 状態	名詞	7	36	19.839999	
19 ホールトン	名詞	5	5	19.483103	
20 摂津	名詞	5	5	19.483103	

表 2-2-1 によると、8 名の選手個人の名前が抽出されており、投手も野手も含まれている。勝ったことに対することばは「良い」「大きい」ということばが見られ、いずれもチーム全体に対しての発言である。その他の発言は「ワンチャンス」「つながる」は打撃陣に対する発言が多いようである。秋山監督は、勝ち試合において、打撃陣に対しての発言が少し多く見られるが、比較的自分のチーム全体のことをバランスよく発言する特徴があるようだ。

表 2-2-2 秋山監督の負け試合コメントの特徴語抽出 20 位

単語	品詞	属性頻度	全体頻度	指標値
1 点	名詞	12	172	48.017541
2 杉内	名詞	7	12	43.339791
3 良い	形容詞	14	316	37.310927
4 1点	名詞	7	103	27.577642
5 つながる+ない	動詞	5	28	27.090977
6 勝負	名詞	5	34	26.117649
7 打線	名詞	8	157	25.14432
8 チャンス	名詞	7	121	24.657656
9 摂津	名詞	4	4	24.657656
10 山田	名詞	4	5	24.495435
11 取れる	動詞	5	46	24.170992
12 崩壊する+ない	動詞	4	8	24.00877
13 悪い	形容詞	4	9	23.846549
14 最後	名詞	5	50	23.522106
15 取る	動詞	7	133	22.710999
16 つながる	動詞	4	25	21.251006
17 田中	名詞	4	27	20.925663
18 つま	形容詞	4	28	20.74342
19 しょうがない	名詞	4	36	19.466571
20 1日	名詞	3	3	18.493242

表 2-2-1 によると、秋山監督の負け試合のコメントは、投手に関する発言が多いようである。「杉内」「摂津」といったチームのエースについての発言が多いようである。また、他チームの「田中」投手についての発言が見られることが特徴的で、負けた原因を、相手チームの投手の調子が良かったからという発言が多く見られた。その発言に伴い「しょうがない」ということばが見られ、秋山監督の発言は、負けた試合に対して、あまり気にしていない様子が見られることが特徴的であった。

(パ・リーグ2位) 日本ハムファイターズ 梨田監督

表 2-2-3 梨田監督の勝ち試合コメントの特徴語抽出 20 位

単語	品詞	属性頻度	全体頻度	指標値
1 中田	名詞	47	49	161.927102
2 ガルビッシュ	名詞	18	25	60.211651
3 斎藤	名詞	16	24	53.007297
4 稲葉	名詞	7	7	24.202965
5 つく	動詞	9	42	21.573813
6 悪い	形容詞	8	30	21.297675
7 4番	名詞	9	47	20.127709
8 ガル	名詞	6	11	19.929295
9 負ける	動詞	7	27	18.41955
10 欲しい	形容詞	6	15	18.142412
11 かわ	動詞	6	16	17.853191
12 持つ	動詞	8	42	17.827026
13 打点	名詞	5	11	16.552508
14 使う	動詞	6	25	15.250204
15 追加点	名詞	5	14	14.684845
16 1点	名詞	7	42	14.080239
17 投手斎藤	名詞	4	4	13.830266
18 二岡	名詞	4	4	13.830266
19 翔	名詞	4	4	13.830266
20 6番	名詞	4	5	13.541045
21 並ぶ	動詞	4	5	13.541045

表 2-2-3 によると、梨田監督は勝ち試合において、上位に選手個人の名前を発言する特徴が見られた。チームの中心選手の名前が多く、それに関連する「4番」「6番」「打点」といったことばが多い。投手、打者についてバランスよく発言されており、その試合に活躍した選手についての発言が多かった。つまり、梨田監督は、チーム全体の発言を選手個人の名前で発言する特徴があるようだ。

表 2-2-4 梨田監督の負け試合コメントの特徴語抽出 20 位

単語	品詞	属性頻度	全体頻度	指標値
1 斎藤	名詞	14	15	46.742312
2 中田	名詞	13	14	43.382317
3 ガルビッシュ	名詞	18	23	40.703741
4 ガル	名詞	11	12	36.662327
5 悪い	形容詞	11	37	29.22184
6 悪い	形容詞	15	94	26.887987
7 打線	名詞	9	26	25.180425
8 つながる+ない	動詞	9	28	24.585186
9 投手斎藤	名詞	7	7	23.519966
10 感じ	名詞	8	26	21.52281
11 武田	名詞	6	6	20.159671
12 相手投手	名詞	8	32	19.737098
13 次	名詞	9	46	19.228035
14 状態	名詞	9	47	18.930416
15 野球	名詞	6	11	18.671673
16 悪い+ない	形容詞	7	25	18.162615
17 野球	名詞	9	54	16.847079
18 ウルフ	名詞	5	5	16.799675
19 翔	名詞	5	5	16.799675
20 1回	名詞	7	31	16.377098

表 2-2-4 によると、梨田監督は、勝ち試合同様に、チーム全体の発言を選手個人の名前で発言する特徴が見られる。また、負け試合においては「痛い」「悪い」といったことばも見られ、負けたことに対しては重く受け止めている発言が抽出された。次の試合に向けての発言は極端に少なく、その試合においてのみの発言が特徴である。つまり、負け試合自体については、しっかりと反省しつつ、その試

合はその試合という心情が表れている。

(パ・リーグ3位) 西武ライオンズ 渡辺監督

表 2-2-5 渡辺監督の勝ち試合コメントの特徴語抽出 20 位

単語	品詞	属性頻度	全体頻度	指標値	
1	牧田	名詞	15	17	45.59149
2	中村	名詞	15	19	44.942705
3	うち	名詞	18	52	44.458984
4	ゲーム	名詞	16	71	31.481371
5	涌井	名詞	10	10	30.82685
6	気持ち	名詞	16	79	28.896231
7	エース	名詞	10	23	26.609747
8	西口	名詞	8	8	24.66148
9	チーム	名詞	17	108	22.885925
10	作る	動詞	9	24	22.878277
11	投げる	動詞	20	144	21.429027
12	チャンス	名詞	10	41	20.770682
13	展開	名詞	8	21	20.444377
14	序盤	名詞	7	12	19.956833
15	むげり	形容	8	24	19.4712
16	勝ち	名詞	11	56	19.311871
17	抑える	動詞	10	46	19.148719
18	岸	名詞	6	6	18.49611
19	自力	名詞	6	7	18.171718
20	望む	動詞	6	7	18.171718

表 2-2-5 によると、渡辺監督の発言は、「うち」「ゲーム」「チーム」といった、チーム全体に対する発言が多く見られる。その他にも、チームの中心選手の名前も見られ、自分のチームについての発言がバランス良く発言されている。また、「展開」「序盤」など、試合の流れを表す発言が抽出されているのも特徴である。つまり、渡辺監督は、試合の流れをふり返りながら、試合のポイントを踏まえながら、具体的に選手の名前を挙げ、チーム全体について発言しているのである。

表 2-2-6 渡辺監督の負け試合コメントの特徴語抽出 20 位

単語	品詞	属性頻度	全体頻度	指標値	
1	涌井	名詞	18	20	52.45052
2	ミス	名詞	25	104	47.023582
3	岸	名詞	12	13	36.079948
4	エース	名詞	12	17	33.724733
5	投手	名詞	22	115	33.426644
6	試合	名詞	29	128	32.311563
7	牧田	名詞	11	12	32.128385
8	チャンス	名詞	21	121	28.102456
9	西口	名詞	8	10	22.934894
10	打線	名詞	23	157	22.486259
11	備けない	形容詞	9	22	22.159617
12	上	名詞	8	15	21.240876
13	いける/ない	動詞	8	17	20.56269
14	平野	名詞	7	10	19.644527
15	バッテリー	名詞	8	23	18.550447
16	形	名詞	11	54	17.898634
17	ゲーム	名詞	12	64	17.800965
18	連勝	名詞	7	16	17.611706
19	強い	形容詞	7	18	16.934099
20	序盤	名詞	7	19	16.585295

表 2-2-6 よると、上位を占める多くが、投手に関する発言であることが分かる。具体的に選手個人の名前を挙げている。また、勝ち試合同様に「序盤」「形」など、試合の流れに関する発言も抽出された。投手に関しては、名前を挙げているのだが、打者については、「打線」「チャンス」といったやや普遍的な発言となり、投手とは違い、選手個人の名前が発言されていないのが特徴である。つまり、渡辺監督は、負け試合において、投手個人についての発言を多く発言し、打者に対しては、打者全員を対象とする発言を行うのである。

(パ・リーグ4位) オリックス・バッファローズ 岡田監督

表 2-2-7 岡田監督の勝ち試合コメントの特徴語抽出 20 位

単語	品詞	属性頻度	全体頻度	指標値	
1	T-岡田	名詞	17	17	51.937053
2	金子	名詞	12	12	36.661449
3	寺原	名詞	12	12	36.661449
4	西	名詞	12	12	36.661449
5	ホール	名詞	12	25	32.406298
6	四球	名詞	9	20	28.895575
7	打つ/できる	動詞	9	21	28.568255
8	言う	動詞	10	37	21.713586
9	形	名詞	12	58	21.604761
10	やる	動詞	20	141	21.49678
11	1番	名詞	11	49	21.495514
12	大きい	形容詞	24	183	21.279129
13	終わる	動詞	9	28	21.27702
14	ボール球	名詞	7	9	20.731207
15	辛抱	名詞	7	9	20.731207
16	投手	名詞	13	74	19.750092
17	流れ	名詞	9	33	19.640424
18	4番	名詞	10	47	18.440393
19	積み重ね	名詞	6	7	18.003405
20	T試合T試	名詞	6	8	17.676086

表 2-2-7 によると、岡田監督の発言の上位は、選手個人の名前であることが分かる。また、その他の発言においては、勝ち試合ながらも、「辛抱」「ボール球(手を出さない)」といったチームの反省点を発言する特徴がある。そして、「1 試合 1 試合」「積み重ね」といった、勝った試合ごとに価値をおいた発言が特徴的である。つまり、岡田監督は、勝ち試合 1 試合 1 試合ごとにチームの反省点を述べ、毎試合が重要な試合であることを発言しているのである。

表 2-2-8 岡田監督の負け試合コメントの特徴語抽出 20 位

単語	品詞	属性頻度	全体頻度	指標値	
1	へん	名詞	23	25	68.503741
2	打つ	動詞	36	160	67.031793
3	言う	動詞	22	54	55.520803
4	四球	名詞	24	79	53.887521
5	1番	名詞	18	62	39.501211
6	T-岡田	名詞	11	12	32.748201
7	負ける	動詞	16	66	31.491415
8	ストライク	名詞	11	32	26.097802
9	投げる	動詞	18	103	25.867893
10	あ/ない	動詞	9	13	25.735985
11	しょうがない	名詞	11	36	24.767722
12	比嘉	名詞	8	8	24.058706
18	アカン	名詞	9	19	23.740845
14	ボール球	名詞	9	19	23.740845
15	振る	動詞	9	21	23.075805
16	木佐貫	名詞	7	7	21.051368
17	初球	名詞	8	20	20.068487
18	悔しい	形容	8	22	19.403427
19	変化球	名詞	8	23	19.070907
20	一回	名詞	8	26	18.073947

表 2-2-7 によれば、岡田監督は、負け試合においての発言の多くは、その試合の反省点が多く発言されている。その反省点は、勝ち試合においても見られたことから、常にチームの反省点や課題を発言していることが分かる。負け試合においては、選手個人の名前は少なく、「打つ」「投げる」「振る」といった動詞が多いことも特徴的である。負けた反省点を、

岡田監督は具体的な動詞で発言しているのである。つまり、岡田監督は、負け試合のコメントにおいて、チームの反省点を具体的に発言し、勝ち試合も含めた形で、くり返しているのである。

(パ・リーグ 5位 楽天イーグルス 星野監督)

表 2-2-9 星野監督の勝ち試合コメントの特徴語抽出 2位

単語	品詞	属性頻度	全体頻度	指標値	
1	田中	名詞	43	52	112.368848
2	岩隈	名詞	17	17	45.747127
3	点	名詞	20	77	32.638491
4	塩見	名詞	12	12	32.292089
5	いっ	動詞	12	25	27.461185
6	投手田中	名詞	10	10	26.910074
7	永井	名詞	9	9	24.219067
8	取る	動詞	17	82	21.592604
9	オセロ	名詞	8	8	21.52806
10	球	名詞	11	35	20.682489
11	見る	動詞	11	38	19.567665
12	ガルシア	名詞	7	7	18.837052
13	自分	名詞	11	46	16.594801
14	若い	形容詞	9	30	16.415298
15	ヤツ	名詞	6	7	15.774437
16	返す	動詞	6	7	15.774437
17	打つ	動詞	34	241	14.571389
18	言う	動詞	9	37	13.814042
19	借金	名詞	6	13	13.544788
20	井坂	名詞	5	5	13.455037
21	青山	名詞	5	5	13.455037

表 2-2-8 によると、星野監督は勝ち試合において、投手個人の名前の発言が多いことが分かる。打者については「打つ」「返す」といった発言にとどまり、具体的な選手名は挙げられていない。また、「借金」ということばが抽出されていることから、常に、自分のチームが負け越していることを気にしている発言が見られているのも特徴である。星野監督自身が、選手時代に投手だったこととの関係は不明なもの、投手についての発言が多いことが特徴的である。

表 2-2-10 星野監督の負け試合コメントの特徴語抽出 20位

単語	品詞	属性頻度	全体頻度	指標値	
1	ダメ	名詞	22	35	61.165655
2	岩隈	名詞	16	17	47.322505
3	田中	名詞	14	27	37.396541
4	出す	動詞	17	65	34.522127
5	井坂	名詞	10	10	29.786393
6	野球球	名詞	14	54	28.271999
7	おなじみ	名詞	9	9	26.807753
8	四球	名詞	16	79	26.507691
9	うち	名詞	15	70	26.214782
10	取る	動詞	21	133	24.950363
11	チーム	名詞	13	55	24.621912
12	淋しい	形容詞	8	9	23.49339
13	真ん中	名詞	7	8	20.514751
14	情けない	形容詞	8	22	19.128981
15	戸村	名詞	6	6	17.871836
16	投手ヒメ	名詞	6	6	17.871836
17	反省+な	名詞	6	7	17.536112
18	ピッチャー	名詞	9	37	17.407488
19	塩見	名詞	6	8	17.200388
20	打線	名詞	21	157	16.892992

表 2-2-9 において、特徴的なことばは 1 位に抽出されている「ダメ」ということばである。負け試合について完全に否定している発言である。続いて、「おなじみ」といった、負け試合が多いことに対する発言が見られる。そして「うち」「チーム」などチーム全体についての発言がみられ、負けた原因を普遍的に捉えているようである。また、特徴的なのが、「淋しい」「情けない」といった心情的な発言が見られることである。星野監督は、負け試合においては、感情的な発言が多く、それをチーム全体に向けて発しているようだ。

(パ・リーグ 6位 千葉ロッテマリーンズ 西村監督)

表 2-2-11 西村監督の勝ち試合コメントの特徴語抽出 20位

単語	品詞	属性頻度	全体頻度	指標値	
1	気持ち	名詞	20	79	68.673469
2	成瀬	名詞	12	16	48.77889
3	カステイヨ	名詞	10	10	41.453195
4	唐川	名詞	8	8	33.162556
5	伊志嶺	名詞	8	9	32.92132
6	チーム	名詞	13	108	30.97174
7	引く程る	動詞	6	12	23.424501
8	勝つ+できない	名詞	6	14	22.942029
9	投手	名詞	10	90	22.15432
10	井口	名詞	5	5	20.726597
11	前回	名詞	5	11	19.279182
12	初回	名詞	5	13	18.79671
13	ファン	名詞	5	15	18.314298
14	使つ+できる	動詞	4	4	16.581278
15	大谷	名詞	4	4	16.581278
16	点	名詞	8	77	16.517276
17	もの	名詞	4	10	15.133862
18	悔しい	形容詞	4	11	14.892626
19	期待	名詞	4	11	14.892626
20	負ける+ない	動詞	4	11	14.892626

表 2-2-11 によれば、西村監督の勝ち試合の発言は、上位に選手個人の名前が多いことが分かる。また、1 位に「気持ち」という発言が見られ、気持ちの面についての発言が多いことが、特徴的である。投手と打者のバランスは良く、チームに対する発言もある。また、「ファン」ということばも特徴的なことばの 1 つである。そして、勝ち試合のコメントでありながら、「悔しい」という発言が抽出されており、負け試合での悔しい思いを、勝ち試合で発言していることも特徴的である。



表 2-2-12 西村監督の負け試合コメントの特徴語抽出 20 位

単語	品詞	属性頻度	全体頻度	指標値
1 気持ち	名詞	26	66	66.723833
2 点	名詞	36	172	64.438422
3 チャンス	名詞	27	121	60.964919
4 成程	名詞	14	17	41.498418
5 ミス	名詞	22	104	39.745161
6 もの	名詞	11	18	31.076019
7 取る	動詞	22	133	30.189287
8 いっ	動詞	13	42	29.8963
9 球	名詞	13	49	27.58971
10 やる+ない	動詞	13	51	26.930684
11 流れ	名詞	12	42	26.592005
12 唐川	名詞	9	14	25.665479
13 取る+ない	動詞	11	41	23.497222
14 相手	名詞	14	72	23.375209
15 出す+ない	動詞	8	13	22.630697
16 伊志雄	名詞	7	7	21.243478
17 状況	名詞	9	29	20.722786
18 つながら	動詞	8	25	18.676542
19 向こう	名詞	8	25	18.676542
20 いっ+ない	動詞	8	26	18.347029

表 2-2-12 によると、西村監督は、勝ち試合のコメントに引き続き、負け試合においても「気持ち」という発言を多くしていることが分かる。西村監督は、気持ちに注目する発言が多いことが、最も特徴的なのである。また、「相手」「向こう」など、対戦相手についての発言も抽出されている。そして、しかし、全体的には、自分のチームに対しての発言が多く、投手の名前は挙げていないもの、打者の名前を挙げてはいない。つまり、西村監督は、選手の気持ちについて多く発言し、チームが負ける原因を気持ちの面に求めていることが特徴的である。

## 考察

12 監督の特徴語抽出によるデータをもとに、考察を行う。勝ち試合の特徴語抽出については、活躍した選手や、チームの中心選手について発言する監督が多いようだ。また、投手について多くを発言する監督と、打者について発言する監督と、両方をバランス良く発言する監督の 3 パターンに分かれるようだ。そして、この 3 パターンと順位を比較すると、投手について発言が多い監督は、たとえば、野村監督、尾花監督、星野監督といった、下位チームの監督であった。打者について特に多く発言する監督は、真弓監督で、順位は 4 位であった。投手と打者をバランス良く発言する監督は、原監督、秋山監督、梨田監督など、上位チームの監督であった。下位チームの監督は、投手が活躍することで勝つことができたと考える傾向があり、上位監督は、投手と打者が活躍することでチームが勝てると考えているようである。しかし、この 3 パターンのどこにも入らない監督が、セ・リーグ 1 位の落合監督である。落合監督は、選手個人の名前の発言が他の監督と比べ、極端に少なく、ほとんどが、チーム全体に対しての発言であった。また、西村監督は、「気持ち」という発言を多く使っており、選手の気持ちの面に大きく注目をしているようだ。

負け試合の特徴語抽出においては、ほとんどの監督が投手についての発言が多くなっている。失点が負ける要因だと考えている監督が多いことが、この結果から分かる。しかし、この投手についての発言が少ないのが、落合監督、真弓監督、岡田監督である。落合監督は、勝ち試合のコメント同様に、チーム全体についての発言が多い。真弓監督も勝ち試合同様に、打者についての発言が負け試合においても多く見られる。岡田監督も、真弓監督と同じく打者についての発言が多くなっている。また、西村監督は、負け試合においても、「気持ち」という発言が多かった。

以上を総合的に、考察する。最も特徴的だったのは、落合監督であった。勝ち試合、負け試合に関係なく、落合監督は、選手個人の名前を発言することは極端にすくなく、チーム全体に対する発言が圧倒的に多かった。試合の結果の要因を普遍的に見ていることが分かる。また、自分のチームについての発言しかなく、試合結果の要因を、常に自分のチームに求めていることが分かる。次に、特徴的だったのは、上位チームの監督は、勝ち試合

のコメントにおいて、その内容が投手と打者の両方について、バランス良く発言していることである。勝った要因を投手と打者どちらかの要因ではなく、両方に求めているのである。上位チームの監督は、負け試合においても投手と打者とでは、大きな偏りは見られなかった。一方、下位チームは、投手と打者の発言に大きな偏りがあった。特に、野村監督、尾花監督、星野監督は、投手についての発言が多かった。打者についての発言がおおかったのは、真弓監督と岡田監督で、順位は両チームとも4位であった。そして、負け試合においても、西村監督は、「気持ち」という発言が多く見られた。

### 本研究の限界と今後の課題

今回の数量的な抽出により、各監督の試合後のコメントは、明らかに各監督それぞれに特徴があることが分かった。そのコメントには、各監督の重要視している発言が多く見られるし、中には、具体的な発言はしない監督もいた。しかし、今回は特徴語抽出のみの分析だったからことから、各監督の特徴と、成績との関係や、楽観主義との関係性は明らかにすることはできなかった。数量的には、ことばを抽出できたものの、基本的な分析にとどまってしまった。

今後は、各監督の発言することばの特徴と、成績の関係を明らかにするために、さらなる研究が求められる。また、各監督の楽観主義とことばの特徴との関係性を明らかにする研究を、研究方法から模索する必要がある。今回の研究は、基本的な分析となったが、この結果をもとに、今後の研究に取り組んでいきたい。

### 謝辞

今回、学生研究奨励賞の原稿作成にあたり、Text Minig Studioを貸与していただいた数理システムに感謝致します。また、最後までご指導くださった和光大学の伊藤武彦教授に感謝致します。

### 参考・引用文献

- ・二川優太 『プロ野球監督の楽観主義』和光大学卒業論文 2011（未公刊）
- ・マーティン・セリグマン『オプティミストはなぜ成功するか』講談社 2004
- ・渡辺、いとう、井上 「楽観主義内容分析法の説明スタイルに関する測定法」『マクロ・カウンセリング研究』 第9巻 p. 48-59. 2010